世界好配当株投信
(毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第110期(決算日2016年５月10日)　第111期(決算日2016年６月10日)　第112期(決算日2016年７月11日)
第113期(決算日2016年８月10日)　第114期(決算日2016年９月12日)　第115期(決算日2016年10月11日)

作成対象期間（2016年４月12日～2016年10月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2007年１月31日以降、無期限とします。	
運用方針	世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 安定した配当収益の確保に加え中長期的な値上がり益の獲得を目指します。世界を「北米」「欧州」「アジア・オセアニア（日本を含む）」の三地域に分割し、各地域への投資比率は概ね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じた比率とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	世界好配当株投信（毎月分配型）	世界好配当株投信 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお株式等に直接投資する場合があります。
	世界好配当株投信マザーファンド	世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	世界好配当株投信（毎月分配型）	株式への実質投資割合には制限を設けません。
	世界好配当株投信マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案し、安定分配相当額のほか、分配原資の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント
東京都中央区日本橋１－１２－１
サポートダイヤル　0120－753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時
ホームページ　http://www.nomura-am.co.jp/

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数	株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	期中騰落率				
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
86期(2014年5月12日)	7,304	20	0.4	0.3	97.8	－	0.9	43,205
87期(2014年6月10日)	7,516	20	3.2	3.6	97.9	－	0.9	43,817
88期(2014年7月10日)	7,466	20	△ 0.4	△ 0.3	98.0	－	1.0	42,930
89期(2014年8月11日)	7,242	20	△ 2.7	△ 2.5	97.9	－	0.6	41,072
90期(2014年9月10日)	7,763	20	7.5	6.5	98.1	－	0.5	43,313
91期(2014年10月10日)	7,546	20	△ 2.5	△ 3.4	98.4	－	0.5	41,487
92期(2014年11月10日)	8,313	20	10.4	9.9	98.0	－	0.5	44,885
93期(2014年12月10日)	8,714	20	5.1	4.9	97.5	－	0.4	45,341
94期(2015年1月13日)	8,377	20	△ 3.6	△ 3.5	98.0	－	0.5	42,765
95期(2015年2月10日)	8,516	20	1.9	2.6	96.8	－	0.5	42,594
96期(2015年3月10日)	8,790	20	3.5	4.0	97.9	－	0.5	42,447
97期(2015年4月10日)	8,897	20	1.4	1.0	98.1	－	0.5	41,924
98期(2015年5月11日)	8,999	20	1.4	0.7	98.3	－	0.5	41,364
99期(2015年6月10日)	9,090	10	1.1	1.5	98.6	－	0.4	40,496
100期(2015年7月10日)	8,697	10	△ 4.2	△ 4.2	98.4	－	0.3	37,682
101期(2015年8月10日)	9,010	10	3.7	4.1	98.4	－	0.2	38,144
102期(2015年9月10日)	8,161	10	△ 9.3	△10.1	98.4	－	0.1	33,914
103期(2015年10月13日)	8,289	10	1.7	2.5	98.2	－	0.2	34,241
104期(2015年11月10日)	8,672	10	4.7	4.0	98.6	－	0.2	35,382
105期(2015年12月10日)	8,476	10	△ 2.1	△ 2.9	98.5	－	0.0	33,764
106期(2016年1月12日)	7,686	10	△ 9.2	△ 9.6	98.9	－	－	30,385
107期(2016年2月10日)	7,276	10	△ 5.2	△ 6.9	98.9	－	－	28,570
108期(2016年3月10日)	7,643	10	5.2	6.4	97.9	－	－	29,881
109期(2016年4月11日)	7,464	10	△ 2.2	△ 2.7	97.9	－	－	28,992
110期(2016年5月10日)	7,472	10	0.2	1.2	98.5	－	－	28,777
111期(2016年6月10日)	7,572	10	1.5	1.2	97.7	－	－	28,849
112期(2016年7月11日)	7,079	10	△ 6.4	△ 6.9	98.3	－	－	26,695
113期(2016年8月10日)	7,377	10	4.4	4.6	98.3	－	－	27,522
114期(2016年9月12日)	7,350	10	△ 0.2	△ 0.4	98.5	－	－	27,159
115期(2016年10月11日)	7,463	10	1.7	2.0	98.4	－	－	27,179

＊基準価額の騰落率は分配金込み。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド・インデックス・フリー（円換算ベース））は、MSCI World Index Free（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
＊MSCI World Index Freeは、MSCIが開発した指数です。
同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所) MSCI、ブルームバーグ

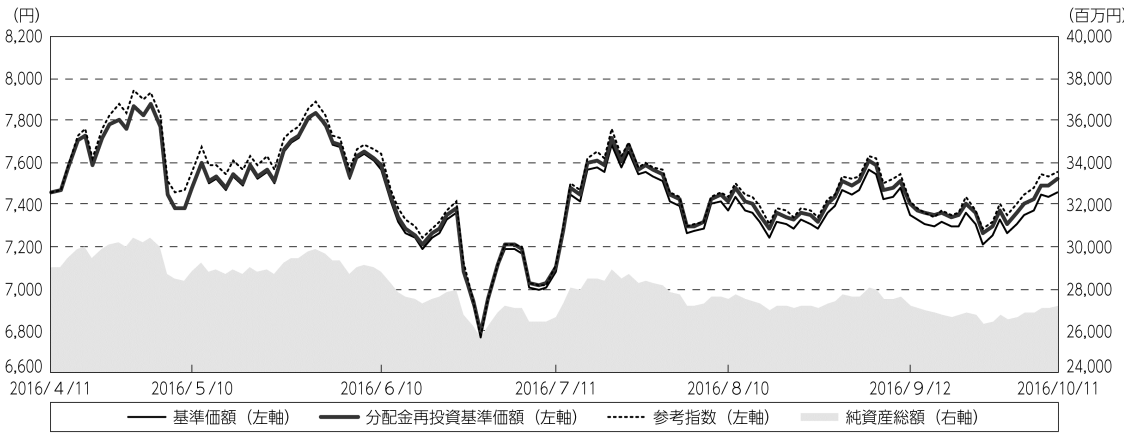
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		参考指数	株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
			騰落率	騰落率			
	（期　首）	円	%	%	%	%	%
	2016年４月11日	7,464	－	－	97.9	－	－
第110期	４月末	7,770	4.1	4.8	98.4	－	－
	（期　末）						
	2016年５月10日	7,482	0.2	1.2	98.5	－	－
	（期　首）						
	2016年５月10日	7,472	－	－	98.5	－	－
第111期	５月末	7,831	4.8	4.4	97.7	－	－
	（期　末）						
	2016年６月10日	7,582	1.5	1.2	97.7	－	－
	（期　首）						
	2016年６月10日	7,572	－	－	97.7	－	－
第112期	６月末	7,098	△6.3	△6.9	98.4	－	－
	（期　末）						
	2016年７月11日	7,089	△6.4	△6.9	98.3	－	－
	（期　首）						
	2016年７月11日	7,079	－	－	98.3	－	－
第113期	７月末	7,517	6.2	6.3	98.1	－	－
	（期　末）						
	2016年８月10日	7,387	4.4	4.6	98.3	－	－
	（期　首）						
	2016年８月10日	7,377	－	－	98.3	－	－
第114期	８月末	7,467	1.2	1.2	98.1	－	－
	（期　末）						
	2016年９月12日	7,360	△0.2	△0.4	98.5	－	－
	（期　首）						
	2016年９月12日	7,350	－	－	98.5	－	－
第115期	９月末	7,261	△1.2	△0.9	98.4	－	－
	（期　末）						
	2016年10月11日	7,473	1.7	2.0	98.4	－	－

＊期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第110期首：7,464円
第115期末：7,463円（既払分配金（税込み）：60円）
騰　落　率：　0.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2016年４月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、MSCIワールド・インデックス・フリー（円換算ベース）です。作成期首（2016年４月11日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

第110－112期
（横ばい）原油価格が上昇したことや、中国経済に対する過度の減速懸念が後退したこと、一方、為替市場で円が上昇（円高）したこと
（下　落）EU（欧州連合）離脱をめぐる英国の国民投票への懸念が強まったこと、英国のEU離脱が決定し、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、日銀が金融政策の維持を決定したこともあり為替市場で円が上昇したこと
（上　昇）英国のEU離脱決定の影響に対する主要国の政策対応への期待が高まったこと
第113－115期
（上　昇）市場予想を上回る米国経済指標や欧米企業の堅調な４－６月期決算などを背景に投資家のリスク回避姿勢が弱まったこと、為替市場で円が下落（円安）に転じたこと
（横ばい）FOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利の据え置きが決定されたこと、原油価格が上昇したことで投資家のリスク回避姿勢が弱まったこと、一方、欧州金融大手の業績悪化が懸念されたこと

○投資環境

当作成期の世界の株式市場は、中国経済に対する過度の減速懸念が後退したことなどを背景に上昇して始まりました。その後は４月末に日銀の追加金融緩和が見送られたことなどを受け下落したものの、原油価格の上昇や米国の堅調な経済指標の発表などを受けて上昇に転じるなど一進一退の動きとなりました。６月に入るとEU離脱をめぐる英国の国民投票を前に振幅の大きい展開となり、国民投票で離脱派が勝利すると、投資家心理の悪化から下落しました。しかし６月末には、英国のEU離脱決定の影響に対する主要国の政策対応への期待などから反発し、７月上旬に発表された米経済指標が市場予想を上回ったことや欧米企業の堅調な４－６月期決算などを背景に投資家のリスク回避姿勢が弱まったことから上昇しました。８月以降は、米金融政策を巡る不透明感を背景にほぼ横ばい圏で推移しました。当作成期末にかけても、９月下旬にFOMCで政策金利の据え置きが決定されたことや、原油価格の上昇を好感したものの、欧州金融大手の業績悪化懸念が重しとなるなど一進一退の動きが継続しました。当作成期において世界の株式市場は上昇しました。一方、為替市場では、英国のEU離脱が決定し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、米利上げ観測の後退などから米ドル安・円高が進行しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[世界好配当株投信（毎月分配型）]

主要投資対象である［世界好配当株投信 マザーファンド］受益証券を、当作成期を通じておおむね高位に組み入れました。

[世界好配当株投信 マザーファンド]

・組入比率

株式（投資信託証券を含む）組入比率はおおむね高位を維持しました。

・当作成期中の主な動き

（１）地域別比率につきましては、北米、欧州、アジア・オセアニア（日本を含む）の三地域の投資比率が、おおむね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じたものになるように留意しながら運用しました。

（２）業種別比率につきましては、配当利回りの水準、増配の継続性、および配当利回りで見た割安度の判断から、ヘルスケア、電気通信サービスなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）としました。一方、一般消費財・サービス、資本財・サービスなどをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。

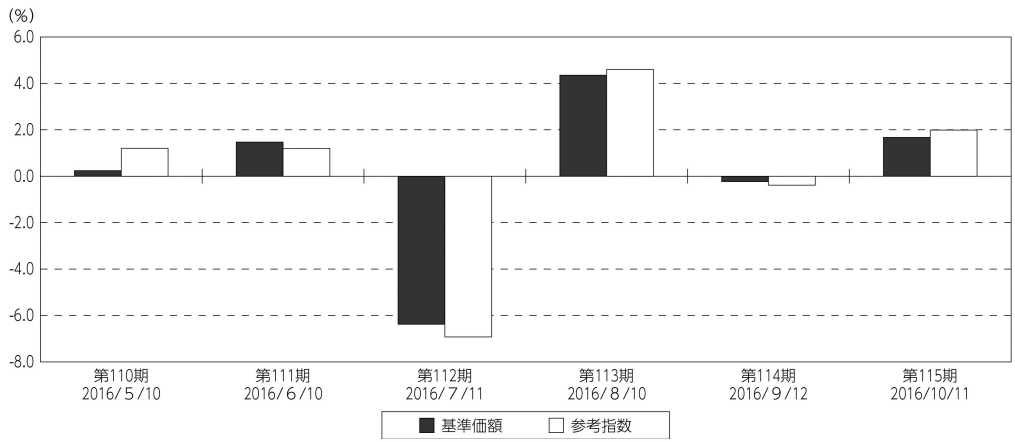
（３）銘柄につきましては、配当利回りや増配実績などの観点から割安と判断できる、JPMORGAN CHASE ＆ CO（米国／銀行）、JOHNSON ＆ JOHNSON（米国／医薬品）、ALTRIA GROUP INC（米国／タバコ）、AMGEN INC（米国／バイオテクノロジー）、MICROSOFT CORP（米国／ソフトウェア）などを組入上位銘柄としました。

（４）為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）はしておりません。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）参考指数は、MSCIワールド・インデックス・フリー（円換算ベース）です。

第110～112期

参考指数が4.7%の下落となったのに対して、基準価額は4.8%の下落となりました。

（主なプラス要因）

①収益力や増配の実績、および配当利回りで見た割安度の判断からオーバーウェイトとしていたヘルスケアセクターの株価騰落率が参考指数を上回ったこと、業績と景気の感応度が高く、収益性が安定しないことからアンダーウェイトとしていた一般消費財・サービスセクターの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

②米国景気の回復期待を背景に、業績見通しと比べ株価の割安度が高いことからオーバーウェイトとしていた米国のIT（情報技術）株や、相対的に配当利回りが高く、安定的な配当実績があることからオーバーウェイトとしていた米国の生活必需品株などの株価騰落率が参考指数を上回ったこと

（主なマイナス要因）

①業績見通しと比べ株価の割安度が高く、増配の可能性も見込めることからオーバーウェイトとしていたスウェーデンのIT株や英国の金融株、過去からの増配実績や今後の配当の継続性などの観点からオーバーウェイトとしていたイスラエルのヘルスケア株などの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

第113～115期

参考指数が6.3%の上昇となったのに対して、基準価額は5.9%の上昇となりました。

（主なプラス要因）

①株価の割安度が高く、株主還元に積極的な姿勢を評価してオーバーウェイトとしていた米国のIT株や、過去からの増配実績を評価してオーバーウェイトとしていた米国の金融株などの株価騰落率が参考指数を上回ったこと

（主なマイナス要因）

①収益力や増配の実績、および配当利回りで見た割安度の判断からオーバーウェイトとしていたヘルスケアセクターの株価騰落率が参考指数を下回ったこと、相対的に配当利回りが高いことや今後の配当の継続性などの観点からオーバーウェイトとしていた電気通信サービスセクターの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

②相対的に配当利回りが高く、安定的な配当実績があることからオーバーウェイトとしていた米国の生活必需品株や、過去からの増配実績や今後の配当の継続性などの観点からオーバーウェイトとしていたイスラエルのヘルスケア株などの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

＊基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

◎分配金

（１）収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、第110期から第115期まで、配当等収益を中心に１万口当たり、各10円とさせていただきました。

（２）留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項　　目	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期
	2016年４月12日～2016年５月10日	2016年５月11日～2016年６月10日	2016年６月11日～2016年７月11日	2016年７月12日～2016年８月10日	2016年８月11日～2016年９月12日	2016年９月13日～2016年10月11日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.134%	0.132%	0.141%	0.135%	0.136%	0.134%
当期の収益	10	10	10	9	10	10
当期の収益以外	－	－	－	0	－	－
翌期繰越分配対象額	168	193	196	195	204	210

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[世界好配当株投信 マザーファンド]

運用チームは、当ファンドの投資方針である、安定的な配当収入を得ながら中長期の値上がり益の獲得を目指すために、長期にわたって自信を持って保有できる配当実績のある優れた企業の株式を配当利回りで見て割安な水準で投資していくことを目指します。企業業績の「果実」である現金配当を分配金の形で定期的に得ながら、短期的な値動きに左右されず中長期で株価の値上がり益を狙いたい投資家の方々を念頭に今後も運用を行なってまいります。

ポートフォリオの構築に際しては、①主要国の金融政策や景気見通しが修正されるような状況、②新興国での財政引き締めや金融引き締めによる需要の減速が世界経済全体に波及するような状況、③政治的、地政学的なリスクが高まるような状況、などのリスク要因も意識した上で、

（１）安定した収益力と増配実績が確認でき、今後も業績の拡大が期待できる企業群、
（２）景気変動の波を超えて収益を生み出せる、差別化された商品や技術力、あるいはビジネスモデルを持った企業群、
（３）経営改革に注力し、収益性や株主還元策の改善が期待できる企業群、

などに注目していく方針です。

当ファンドで保有する企業の多くは収益基盤を着実に拡大させている一方、比較的多額の現金を保有していることから、引き続き増配や自社株買い戻しによる株主還元の拡大が期待されます。運用チームは、弊社のグローバル調査体制を活用し、企業とのコンタクトを通じて、「質の高い企業を、配当利回りで見て割安な水準で買う」というシンプル、かつ有効性を示す実証分析が多い投資手法に注目することで、運用資産の長期的な成長を目指してまいります。

また、引き続き株式の組入比率を高位に保ち、北米、欧州、アジア・オセアニア（日本を含む）の三地域への投資比率が、おおむね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じたものになるようにすることで、通貨分散を図りながら運用資産の長期的な成長を目指してまいります。

上記の運用方針は、特定の国や業種に偏重しないように、リスク分散に留意しながら実行してまいります。なお、ファンドは組入外貨建資産について為替ヘッジを行なわないことを基本とします。

[世界好配当株投信（毎月分配型）]

主要投資対象である［世界好配当株投信 マザーファンド］受益証券の組み入れを高位に維持し、基準価額の向上に努めます。

当ファンドは、配当等収益を中心に安定分配を行なう方針です。引き続き、「中長期的な配当収入の増加と信託財産の成長」で、ご投資家の皆さまが増配企業への長期投資のメリットを実感していただけますよう努めてまいりますので、長期的な視点でファンドの保有を継続していただきますようお願い申し上げます。

○１万口当たりの費用明細

（2016年４月12日～2016年10月11日）

項目	第110期～第115期 金額	第110期～第115期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	45	0.596	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(20)	(0.271)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	(20)	(0.271)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	(4)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	2	0.021	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(2)	(0.021)	
(c) 有価証券取引税	0	0.006	(c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.006)	
(d) その他費用	1	0.010	(d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	48	0.633	
作成期間の平均基準価額は、7,490円です。			

＊作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年４月12日～2016年10月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第110期～第115期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
世界好配当株投信 マザーファンド	24,156	46,718	1,136,134	2,229,114

＊単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2016年４月12日～2016年10月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第110期～第115期
	世界好配当株投信 マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	9,063,688千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	49,653,045千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.18

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2016年４月12日～2016年10月11日）

利害関係人との取引状況

＜世界好配当株投信（毎月分配型）＞

区分	第110期～第115期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
預金	267	267	100.0	401	401	100.0

＜世界好配当株投信 マザーファンド＞

区分	第110期～第115期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	3,462	－	－	5,600	51	0.9
為替直物取引	786	0.013282	0.0	4,183	177	4.2
預金	825	825	100.0	969	969	100.0

平均保有割合　55.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　目	第110期～第115期
売買委託手数料総額（A）	5,856千円
うち利害関係人への支払額（B）	24千円
（B）／（A）	0.4%

＊売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

（2016年10月11日現在）

親投資信託残高

銘　　柄	第109期末	第115期末	
	口　　数	口　　数	評　価　額
	千口	千口	千円
世界好配当株投信 マザーファンド	14,740,101	13,628,123	27,125,416

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2016年10月11日現在）

項　　目	第115期末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
世界好配当株投信 マザーファンド	27,125,416	99.5
コール・ローン等、その他	139,602	0.5
投資信託財産総額	27,265,018	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊世界好配当株投信 マザーファンドにおいて、第115期末における外貨建て純資産（44,758,424千円）の投資信託財産総額（49,144,133千円）に対する比率は91.1%です。
＊外貨建て資産は、第115期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=103.95円、1カナダドル=78.89円、1英ポンド=128.25円、1スイスフラン=105.75円、1スウェーデンクローナ=12.00円、1ユーロ=115.71円、1香港ドル=13.40円、1シンガポールドル=75.48円、1新台湾ドル=3.31円、1豪ドル=78.88円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末
	2016年５月10日現在	2016年６月10日現在	2016年７月11日現在	2016年８月10日現在	2016年９月12日現在	2016年10月11日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	28,893,539,828	28,961,594,552	26,780,767,861	27,621,053,416	27,261,374,809	27,265,018,109
コール・ローン等	173,263,253	169,520,042	137,728,668	153,400,678	155,779,619	139,602,021
世界好配当株投信 マザーファンド(評価額)	28,720,276,575	28,792,074,510	26,643,039,193	27,467,652,738	27,105,595,190	27,125,416,088
(B) 負債	116,517,827	111,827,633	84,934,299	98,351,036	101,423,231	85,561,793
未払収益分配金	38,513,027	38,098,762	37,713,196	37,306,310	36,951,569	36,418,375
未払解約金	50,041,868	44,254,838	19,681,731	33,621,709	34,908,862	23,756,434
未払信託報酬	27,886,579	29,393,637	27,464,272	27,348,228	29,482,192	25,317,814
未払利息	307	242	207	216	213	133
その他未払費用	76,046	80,154	74,893	74,573	80,395	69,037
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	28,777,022,001	28,849,766,919	26,695,833,562	27,522,702,380	27,159,951,578	27,179,456,316
元本	38,513,027,824	38,098,762,738	37,713,196,268	37,306,310,447	36,951,569,258	36,418,375,564
次期繰越損益金	△ 9,736,005,823	△ 9,248,995,819	△11,017,362,706	△ 9,783,608,067	△ 9,791,617,680	△ 9,238,919,248
(D) 受益権総口数	38,513,027,824口	38,098,762,738口	37,713,196,268口	37,306,310,447口	36,951,569,258口	36,418,375,564口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	7,472円	7,572円	7,079円	7,377円	7,350円	7,463円

（注）第110期首元本額は38,845,769,066円、第110～115期中追加設定元本額は35,157,673円、第110～115期中一部解約元本額は2,462,551,175円、１口当たり純資産額は、第110期0.7472円、第111期0.7572円、第112期0.7079円、第113期0.7377円、第114期0.7350円、第115期0.7463円です。

（注）投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額70,371,590円。（世界好配当株投信 マザーファンド）

○損益の状況

項目	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期
	2016年４月12日～2016年５月10日	2016年５月11日～2016年６月10日	2016年６月11日～2016年７月11日	2016年７月12日～2016年８月10日	2016年８月11日～2016年９月12日	2016年９月13日～2016年10月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**△ 4,713**	**△ 4,847**	**△ 4,785**	**△ 3,826**	**△ 4,529**	**△ 3,824**
受取利息	1	－	－	－	－	－
支払利息	△ 4,714	△ 4,847	△ 4,785	△ 3,826	△ 4,529	△ 3,824
(B) 有価証券売買損益	**98,590,907**	**449,322,799**	**△ 1,797,155,254**	**1,179,322,241**	**△ 35,136,772**	**472,160,832**
売買益	110,352,962	453,359,735	14,854,721	1,192,035,474	3,385,806	486,949,918
売買損	△ 11,762,055	△ 4,036,936	△ 1,812,009,975	△ 12,713,233	△ 38,522,578	△ 14,789,086
(C) 信託報酬等	**△ 27,962,625**	**△ 29,473,791**	**△ 27,539,165**	**△ 27,422,801**	**△ 29,562,587**	**△ 25,386,851**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**70,623,569**	**419,844,161**	**△ 1,824,699,204**	**1,151,895,614**	**△ 64,703,888**	**446,770,157**
(E) 前期繰越損益金	**△9,226,391,345**	**△9,093,729,595**	**△ 8,621,202,369**	**△10,369,188,360**	**△9,165,189,427**	**△9,128,914,110**
(F) 追加信託差損益金	**△ 541,725,020**	**△ 537,011,623**	**△ 533,747,937**	**△ 529,009,011**	**△ 524,772,796**	**△ 520,356,920**
（配当等相当額）	（ 288,779,464）	（ 285,745,049）	（ 282,958,643）	（ 279,966,654）	（ 277,348,315）	（ 273,514,864）
（売買損益相当額）	（△ 830,504,484）	（△ 822,756,672）	（△ 816,706,580）	（△ 808,975,665）	（△ 802,121,111）	（△ 793,871,784）
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**△9,697,492,796**	**△9,210,897,057**	**△10,979,649,510**	**△ 9,746,301,757**	**△9,754,666,111**	**△9,202,500,873**
(H) 収益分配金	**△ 38,513,027**	**△ 38,098,762**	**△ 37,713,196**	**△ 37,306,310**	**△ 36,951,569**	**△ 36,418,375**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**△9,736,005,823**	**△9,248,995,819**	**△11,017,362,706**	**△ 9,783,608,067**	**△9,791,617,680**	**△9,238,919,248**
追加信託差損益金	△ 541,725,020	△ 537,011,623	△ 533,747,937	△ 529,009,011	△ 524,772,796	△ 520,356,920
（配当等相当額）	（ 288,806,298）	（ 285,757,077）	（ 282,974,323）	（ 279,971,629）	（ 277,356,799）	（ 273,536,854）
（売買損益相当額）	（△ 830,531,318）	（△ 822,768,700）	（△ 816,722,260）	（△ 808,980,640）	（△ 802,129,595）	（△ 793,893,774）
分配準備積立金	358,440,218	451,301,151	456,852,104	450,768,479	476,820,598	493,156,665
繰越損益金	△9,552,721,021	△9,163,285,347	△10,940,466,873	△ 9,705,367,535	△9,743,665,482	△9,211,718,993

＊損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
＊損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2016年４月12日～2016年10月11日）は以下の通りです。

項目	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期
	2016年４月12日～2016年５月10日	2016年５月11日～2016年６月10日	2016年６月11日～2016年７月11日	2016年７月12日～2016年８月10日	2016年８月11日～2016年９月12日	2016年９月13日～2016年10月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	56,681,475円	134,369,015円	47,112,728円	35,917,712円	66,718,111円	58,689,453円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	288,806,298円	285,757,077円	282,974,323円	279,971,629円	277,356,799円	273,536,854円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	340,271,770円	355,030,898円	447,452,572円	452,157,077円	447,054,056円	470,885,587円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	685,759,543円	775,156,990円	777,539,623円	768,046,418円	791,128,966円	803,111,894円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	178円	203円	206円	205円	214円	220円
g. 分配金	38,513,027円	38,098,762円	37,713,196円	37,306,310円	36,951,569円	36,418,375円
h. 分配金(１万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期
１万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

世界好配当株投信
マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日2016年10月11日）

作成対象期間（2015年10月14日～2016年10月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。 世界を「北米」「欧州」「アジア・オセアニア（日本を含む）」の三地域に分割し、各地域への投資比率は概ね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じた比率とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント
東京都中央区日本橋１-12-１
http://www.nomura-am.co.jp/

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
8期(2012年10月10日)	10,899	17.9		15.6	96.7	－	2.0	63,786
9期(2013年10月10日)	15,507	42.3		44.6	96.4	－	2.5	70,045
10期(2014年10月10日)	18,947	22.2		19.8	98.6	－	0.5	68,609
11期(2015年10月13日)	21,516	13.6		12.7	98.4	－	0.2	59,492
12期(2016年10月11日)	19,904	△ 7.5		△10.9	98.6	－	－	48,950

＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド・インデックス・フリー（円換算ベース））は、MSCI World Index Free（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
＊MSCI World Index Freeは、MSCIが開発した指数です。
同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所) MSCI、ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

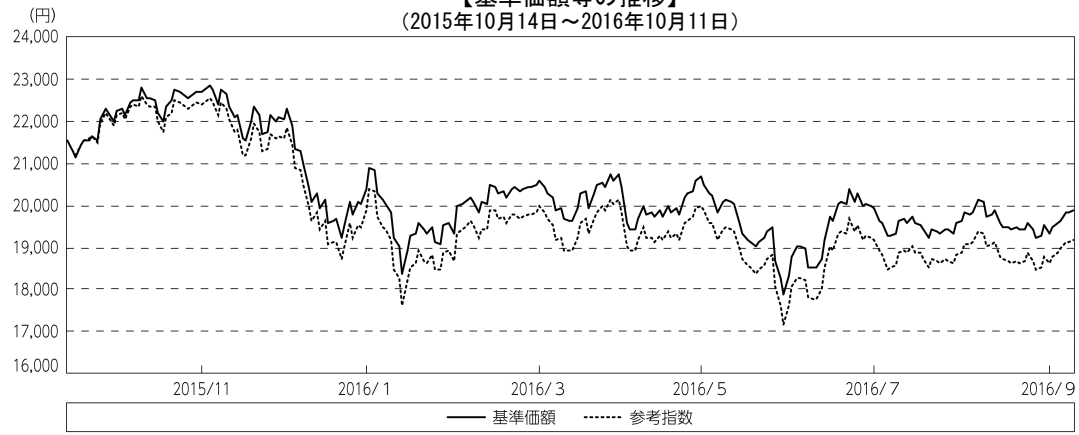
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率			
(期首)	円	%		%	%	%	%
2015年10月13日	21,516	－		－	98.4	－	0.2
10月末	22,282	3.6		3.1	98.5	－	0.2
11月末	22,684	5.4		4.0	98.8	－	0.2
12月末	22,277	3.5		1.5	98.4	－	－
2016年１月末	20,395	△ 5.2		△ 7.5	99.2	－	－
２月末	19,589	△ 9.0		△12.0	98.7	－	－
３月末	20,574	△ 4.4		△ 7.2	97.9	－	－
４月末	20,449	△ 5.0		△ 7.8	98.6	－	－
５月末	20,658	△ 4.0		△ 7.1	97.9	－	－
６月末	18,764	△12.8		△16.1	98.6	－	－
７月末	19,921	△ 7.4		△10.9	98.3	－	－
８月末	19,836	△ 7.8		△11.2	98.3	－	－
９月末	19,330	△10.2		△13.4	98.6	－	－
(期末) 2016年10月11日	19,904	△ 7.5		△10.9	98.6	－	－

＊騰落率は期首比です。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】
（2015年10月14日～2016年10月11日）



（注）参考指数は、MSCIワールド・インデックス・フリー（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首21,516円から期末19,904円となりました。

（上　昇）米国の早期利上げ観測が後退したこと、ドラギECB（欧州中央銀行）総裁が追加金融緩和を示唆したことや中国が追加利下げを発表したこと、為替市場で円が下落（円安）に転じたこと
（下　落）中東情勢が緊迫化したこと、中国の経済指標が市場予想を下回り、中国経済への不安が再燃したこと、世界経済の先行き不透明感から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと
（上　昇）市場予想を上回る米国経済指標の発表を受け、米国の景気減速懸念が後退したこと、ECBによる追加金融緩和策が評価されたこと
（下　落）EU（欧州連合）離脱をめぐる英国の国民投票への懸念が強まったこと、英国のEU離脱が決定し、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、日銀が金融政策の現状維持を決定したこともあり為替市場で円が上昇したこと
（上　昇）英国のEU離脱決定の影響に対する主要国の政策対応への期待が高まったこと、市場予想を上回る米国経済指標や欧米企業の堅調な４－６月期決算などを背景に投資家のリスク回避姿勢が弱まったこと、為替市場で円が下落に転じたこと
（横ばい）FOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利の据え置きが決定されたこと、原油価格が上昇したことで投資家のリスク回避姿勢が弱まったこと、一方、欧州金融大手の業績悪化が懸念されたこと

○当ファンドのポートフォリオ

・組入比率

株式（投資信託証券を含む）組入比率はおおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

（１）地域別比率につきましては、北米、欧州、アジア・オセアニア（日本を含む）の三地域の投資比率が、おおむね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じたものになるように留意しながら運用しました。

（２）業種別比率につきましては、配当利回りの水準、増配の継続性、および配当利回りで見た割安度の判断から、ヘルスケア、電気通信サービスなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）としました。一方、一般消費財・サービス、金融などをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。

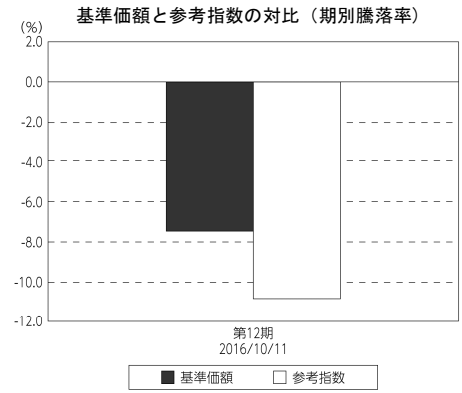
（３）銘柄につきましては、配当利回りや増配実績などの観点から割安と判断できる、JPMORGAN CHASE & CO（米国/銀行）、JOHNSON & JOHNSON（米国/医薬品）、ALTRIA GROUP INC（米国/タバコ）、AMGEN INC（米国/バイオテクノロジー）、MICROSOFT CORP（米国/ソフトウェア）などを組入上位銘柄としました。

（４）為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）はしておりません。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当期は、参考指数としているMSCIワールド・インデックス・フリー（円換算ベース）が10.9%の下落となったのに対して、基準価額は7.5%の下落となりました。



（注）参考指数は、MSCIワールド・インデックス・フリー（円換算ベース）です。

（主なプラス要因）

①業績と景気の感応度が高く、収益性が安定しないことからアンダーウェイトとしていた一般消費財・サービスセクターの株価騰落率が参考指数を下回ったこと
②過去からの増配実績を評価してオーバーウェイトとしていた米国の金融株や、米国景気の回復期待を背景に、業績見通しと比べ株価の割安度が高いことからオーバーウェイトとしていた米国の素材株やIT（情報技術）株などの株価騰落率が参考指数を上回ったこと

（主なマイナス要因）

①収益力や増配の実績、および配当利回りで見た割安度の判断からオーバーウェイトとしていたヘルスケアセクターの株価騰落率が参考指数を下回ったこと
②過去からの増配実績や今後の配当の継続性などの観点からオーバーウェイトとしていたイスラエルのヘルスケア株や、業績見通しと比べ株価の割安度が高く、増配の可能性も見込めることからオーバーウェイトとしていた英国の金融株やスウェーデンのIT株などの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

◎今後の運用方針

運用チームは、当ファンドの投資方針である、安定的な配当収入を得ながら中長期の値上がり益の獲得を目指すために、長期にわたって自信を持って保有できる配当実績のある優れた企業の株式を配当利回りで見て割安な水準で投資していくことを目指します。企業業績の「果実」である現金配当を分配金の形で定期的に得ながら、短期的な値動きに左右されず中長期で株価の値上がり益を狙いたい投資家の方々を念頭に今後も運用を行なってまいります。

ポートフォリオの構築に際しては、①主要国の金融政策や景気見通しが修正されるような状況、②新興国での財政引き締めや金融引き締めによる需要の減速が世界経済全体に波及するような状況、③政治的、地政学的なリスクが高まるような状況、などのリスク要因も意識した上で、

（１）安定した収益力と増配実績が確認でき、今後も業績の拡大が期待できる企業群、
（２）景気変動の波を超えて収益を生み出せる、差別化された商品や技術力、あるいはビジネスモデルを持った企業群、
（３）経営改革に注力し、収益性や株主還元策の改善が期待できる企業群、

などに注目していく方針です。

当ファンドで保有する企業の多くは収益基盤を着実に拡大させている一方、比較的多額の現金を保有していることから、引き続き増配や自社株買い戻しによる株主還元の拡大が期待されます。運用チームは、弊社のグローバル調査体制を活用し、企業とのコンタクトを通じて、「質の高い企業を、配当利回りで見て割安な水準で買う」というシンプル、かつ有効性を示す実証分析が多い投資手法に注目することで、運用資産の長期的な成長を目指してまいります。

また、引き続き株式の組入比率を高位に保ち、北米、欧州、アジア・オセアニア（日本を含む）の三地域への投資比率が、おおむね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じたものになるようにすることで、通貨分散を図りながら運用資産の長期的な成長を目指してまいります。

上記の運用方針は、特定の国や業種に偏重しないように、リスク分散に留意しながら実行してまいります。なお、ファンドは組入外貨建資産について為替ヘッジを行なわないことを基本とします。

○１万口当たりの費用明細

(2015年10月14日～2016年10月11日)

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	9	0.044	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(9)	(0.044)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(b) 有価証券取引税	2	0.010	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(2)	(0.010)	
(c) その他費用	4	0.018	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	15	0.072	
期中の平均基準価額は、20,563円です。			

＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月14日～2016年10月11日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内		千株	千円	千株	千円
	上場	937	1,420,590	1,138	1,860,372
外国		百株	千米ドル	百株	千米ドル
	アメリカ	7,004	35,573	9,270	62,504
			千カナダドル		千カナダドル
	カナダ	895	3,687	765	4,005
			千英ポンド		千英ポンド
	イギリス	25,301	5,529	35,056	10,945
			千スイスフラン		千スイスフラン
	スイス	349	2,353	732	3,906
				(－)	(179)
			千スウェーデンクローナ		千スウェーデンクローナ
	スウェーデン	2,032	26,373	800	6,855
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	639	2,871	418	3,009
				(－)	(101)
	イタリア	251	318	35,690	2,189
				(－)	(88)
	フランス	1,860	3,190	1,579	5,353
	オランダ	270	419	－	－
	スペイン	90	341	98	788
		(1,356)	(－)		
	ベルギー	239	2,550	10	117
	ルクセンブルグ	169	1,227	30	239
			千香港ドル		千香港ドル
	香港	6,890	4,596	17,900	14,112
			千シンガポールドル		千シンガポールドル
	シンガポール	710	1,192	－	－
			千新台湾ドル		千新台湾ドル
	台湾	4,070	18,481	3,120	12,083
			千豪ドル		千豪ドル
	オーストラリア	2,520	2,609	3,366	3,995
		(60)	(28)	(－)	(28)

＊金額は受け渡し代金。
＊単位未満は切り捨て。
＊( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内		口	千円	口	千円
	日本プロロジスリート投資法人　投資証券	－	－	440	95,700

＊金額は受け渡し代金。
＊金額の単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2015年10月14日～2016年10月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	22,427,439千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	52,794,226千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.42

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月14日～2016年10月11日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	8,969	－	－	13,457	101	0.8
投資信託証券	－	－	－	95	11	11.6
為替直物取引	2,683	96	3.6	8,303	255	3.1
預金	6,598	6,598	100.0	6,598	6,598	100.0

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	23,778千円
うち利害関係人への支払額 (B)	97千円
(B) ／ (A)	0.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年10月11日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
建設業 (10.4%)			
大東建託	21.2	16.8	263,508
大和ハウス工業	－	57	152,275
食料品 (12.1%)			
日本たばこ産業	150.9	115.1	481,693
医薬品 (5.4%)			
アステラス製薬	－	137.8	216,139
鉄鋼 (－%)			
新日鐵住金	93.5	－	－
機械 (－%)			
クボタ	361	－	－
電気機器 (8.2%)			
三菱電機	－	245	327,687
輸送用機器 (15.7%)			
トヨタ自動車	120.9	103.9	624,958
情報・通信業 (13.1%)			
ＫＤＤＩ	167.3	167.3	523,147
卸売業 (7.5%)			
伊藤忠商事	197.7	234.7	300,298
三菱商事	122.6	－	－
小売業 (9.2%)			
ローソン	－	46.5	366,420
銀行業 (10.7%)			
三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	500.7	464.1	242,724
みずほフィナンシャルグループ	1,086.3	1,061.1	182,933
サービス業 (7.7%)			
セコム	68.9	40.3	304,909
合計 株数・金額	2,891	2,689	3,986,695
合計 銘柄数＜比率＞	11	12	＜8.1%＞

＊各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。
＊銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
＊評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
＊評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	1,559	1,629	7,086	736,605	ヘルスケア機器・用品
ABBVIE INC	938	933	5,909	614,343	バイオテクノロジー
ABERCROMBIE & FITCH CO-CL A	—	835	1,351	140,526	専門小売り
ALTRIA GROUP INC	1,904	1,619	9,997	1,039,221	タバコ
AMERISOURCEBERGEN CORP	852	445	3,543	368,396	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
AMGEN INC	642	614	10,334	1,074,243	バイオテクノロジー
APPLE INC	814	826	9,590	996,979	コンピュータ・周辺機器
ARES CAPITAL CORP	2,389	2,489	3,852	400,516	資本市場
BOEING CO	629	351	4,767	495,631	航空宇宙・防衛
CSX CORP	1,136	1,246	3,841	399,315	陸運・鉄道
CVS HEALTH CORP	—	283	2,457	255,435	食品・生活必需品小売り
CHEVRON CORP	307	308	3,202	332,908	石油・ガス・消耗燃料
CISCO SYSTEMS	2,825	2,275	7,159	744,222	通信機器
COCA COLA CO	1,428	1,478	6,167	641,131	飲料
COMCAST CORP-CL A	855	914	6,012	624,977	メディア
CONOCOPHILLIPS	690	699	3,102	322,542	石油・ガス・消耗燃料
DOW CHEM CO	1,083	932	4,989	518,703	化学
DU PONT E I DE NEMOURS	1,031	485	3,343	347,566	化学
EVERSOURCE ENERGY	513	491	2,590	269,284	電力
EXELON CORPORATION	1,116	1,101	3,578	371,959	電力
EXXON MOBIL CORP	1,129	1,026	9,073	943,236	石油・ガス・消耗燃料
GENERAL DYNAMICS	258	113	1,727	179,589	航空宇宙・防衛
GENERAL MOTORS CO	—	630	2,025	210,545	自動車
GRAINGER(W.W.) INC	140	142	3,172	329,758	商社・流通業
HOME DEPOT	321	440	5,599	582,016	専門小売り
INTEL CORP	—	886	3,368	350,163	半導体・半導体製造装置
JPMORGAN CHASE & CO	1,893	1,506	10,340	1,074,907	銀行
JOHNSON & JOHNSON	934	901	10,793	1,122,034	医薬品
JOHNSON CONTROLS INC	183	—	—	—	自動車部品
L BRANDS, INC	575	595	4,269	443,837	専門小売り
MARSH & MCLENNAN COS	777	766	5,088	528,953	保険
MASTERCARD INC	737	831	8,530	886,715	情報技術サービス
MCGRAW HILL FINANCIAL INC	787	—	—	—	各種金融サービス
METLIFE INC	502	438	2,084	216,632	保険
MICROSOFT CORP	1,784	1,697	9,849	1,023,843	ソフトウェア
MICROCHIP TECHNOLOGY	857	641	3,929	408,520	半導体・半導体製造装置
MONDELEZ INTERNATIONAL INC	—	967	4,161	432,636	食品
ORACLE CORPORATION	1,643	1,373	5,302	551,197	ソフトウェア
PAYCHEX INC	1,756	1,382	7,831	814,114	情報技術サービス
PEPSICO INC	—	228	2,421	251,747	飲料
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	620	640	6,160	640,332	タバコ
PRINCIPAL FINANCIAL GROUP	734	584	3,089	321,153	保険
PROCTER & GAMBLE CO	682	—	—	—	家庭用品
QUALCOMM INC	591	402	2,703	281,023	半導体・半導体製造装置
ROCKWELL COLLINS INC	—	145	1,214	126,204	航空宇宙・防衛
S&P GLOBAL INC	—	589	7,341	763,188	資本市場
SCHLUMBERGER LTD	728	491	4,042	420,207	エネルギー設備・サービス
SPECTRA ENERGY CORP	836	686	2,891	300,570	石油・ガス・消耗燃料
TEVA PHARMACEUTICAL-SP ADR	1,420	1,437	6,472	672,790	医薬品
3M CORP	358	247	4,227	439,413	コングロマリット
US BANCORP	488	269	1,178	122,475	銀行

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
UNITED PARCEL SERVICE-CL B		571	588	6,412	666,541	航空貨物・物流サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC		—	221	3,051	317,210	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VALSPAR CORP		417	277	2,925	304,147	化学
WEC ENERGY GROUP INC		993	897	5,147	535,122	総合公益事業
WELLS FARGO CO		1,978	1,902	8,682	902,559	銀行
YUM BRANDS INC		529	365	3,189	331,572	ホテル・レストラン・レジャー
EATON CORP PLC		873	545	3,495	363,370	電気設備
SEAGATE TECHNOLOGY		810	630	2,392	248,659	コンピュータ・周辺機器
LYONDELLBASELL INDU-CL A		532	451	3,709	385,646	化学
小計	株数・金額	48,150	45,883	280,780	29,187,153	
	銘柄数<比率>	51	57	—	<59.6%>	
(カナダ)				千カナダドル		
ENBRIDGE INC		600	720	4,111	324,332	石油・ガス・消耗燃料
NATIONAL BANK OF CANADA		—	755	3,446	271,900	銀行
TORONTO DOMINION BANK		1,423	678	3,955	312,025	銀行
小計	株数・金額	2,023	2,153	11,512	908,258	
	銘柄数<比率>	2	3	—	<1.9%>	
(イギリス)				千英ポンド		
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC		848	557	2,710	347,591	タバコ
SSE PLC		797	—	—	—	電力
BP PLC		4,676	6,456	3,192	409,449	石油・ガス・消耗燃料
LLOYDS BANKING GROUP PLC		37,311	29,972	1,569	201,344	銀行
GLAXOSMITHKLINE PLC		3,534	3,002	5,171	663,228	医薬品
ASTRAZENECA PLC		1,437	1,127	5,743	736,610	医薬品
NATIONAL GRID PLC		2,302	2,352	2,456	314,985	総合公益事業
INMARSAT PLC		2,744	2,846	2,021	259,221	各種電気通信サービス
RELX PLC		2,332	1,960	2,891	370,852	専門サービス
VODAFONE GROUP PLC		22,325	15,889	3,587	460,036	無線通信サービス
COMPASS GROUP PLC		2,095	1,583	2,371	304,148	ホテル・レストラン・レジャー
ROTORK PLC		—	4,902	1,047	134,371	機械
小計	株数・金額	80,405	70,651	32,762	4,201,840	
	銘柄数<比率>	11	11	—	<8.6%>	
(スイス)				千スイスフラン		
SYNGENTA AG-REG		129	—	—	—	化学
ZURICH INSURANCE GROUP AG		32	—	—	—	保険
NOVARTIS-REG		840	837	6,395	676,319	医薬品
ROCHE HOLDINGS (GENUSSCHEINE)		362	382	9,219	974,957	医薬品
NESTLE SA-REG		799	776	5,877	621,553	食品
UBS GROUP AG		2,100	1,772	2,416	255,530	資本市場
SYNGENTA AG-2ND LINE		—	112	4,754	502,813	化学
小計	株数・金額	4,264	3,881	28,663	3,031,174	
	銘柄数<比率>	6	5	—	<6.2%>	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ		
SWEDBANK AB		1,000	1,880	38,577	462,931	銀行
ERICSSON LM-B		4,270	4,623	28,735	344,828	通信機器
小計	株数・金額	5,270	6,503	67,313	807,759	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<1.7%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
FRESENIUS SE & CO KGAA		462	323	2,310	267,372	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
DEUTSCHE POST AG-REG		877	1,156	3,160	365,701	航空貨物・物流サービス
SAP SE		—	121	981	113,585	ソフトウェア
ALLIANZ SE-REG		203	198	2,722	314,971	保険
VOLKSWAGEN AG-PREF		105	—	—	—	自動車

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES		365	435	2,811	325,332	自動車
小計	株数・金額	2,013	2,234	11,986	1,386,962	
	銘柄数<比率>	5	5	－	<2.8%>	
(ユーロ…イタリア)						
ENI SPA		1,727	1,903	2,588	299,484	石油・ガス・消耗燃料
TELECOM ITALIA-RNC		35,615	－	－	－	各種電気通信サービス
小計	株数・金額	37,343	1,903	2,588	299,484	
	銘柄数<比率>	2	1	－	<0.6%>	
(ユーロ…フランス)						
ORANGE SA		－	1,465	2,027	234,608	各種電気通信サービス
AXA		2,192	1,726	3,532	408,736	保険
BNP PARIBAS		902	617	3,033	350,954	銀行
SCOR SE		768	335	935	108,264	保険
小計	株数・金額	3,863	4,143	9,528	1,102,564	
	銘柄数<比率>	3	4	－	<2.3%>	
(ユーロ…オランダ)						
RELX NV		－	270	415	48,080	専門サービス
小計	株数・金額	－	270	415	48,080	
	銘柄数<比率>	－	1	－	<0.1%>	
(ユーロ…スペイン)						
RED ELECTRICA CORPORACION SA		521	－	－	－	電力
RED ELECTRICA CORPORACION SA		－	1,869	3,471	401,650	電力
小計	株数・金額	521	1,869	3,471	401,650	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<0.8%>	
(ユーロ…ベルギー)						
ANHEUSER-BUSCH INBEV NV		－	229	2,634	304,854	飲料
小計	株数・金額	－	229	2,634	304,854	
	銘柄数<比率>	－	1	－	<0.6%>	
(ユーロ…ルクセンブルグ)						
RTL GROUP		－	139	1,006	116,494	メディア
小計	株数・金額	－	139	1,006	116,494	
	銘柄数<比率>	－	1	－	<0.2%>	
ユーロ計	株数・金額	43,741	10,789	31,631	3,660,091	
	銘柄数<比率>	11	14	－	<7.5%>	
(香港)				千香港ドル		
CHINA TELECOM CORP LTD-H		63,500	61,740	24,942	334,235	各種電気通信サービス
HKT TRUST AND HKT LTD		47,020	37,120	40,609	544,164	各種電気通信サービス
SANDS CHINA LTD		2,408	3,058	10,641	142,600	ホテル・レストラン・レジャー
小計	株数・金額	112,928	101,918	76,194	1,021,000	
	銘柄数<比率>	3	3	－	<2.1%>	
(シンガポール)				千シンガポールドル		
DBS GROUP HLDGS		1,700	2,410	3,706	279,772	銀行
小計	株数・金額	1,700	2,410	3,706	279,772	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<0.6%>	
(台湾)				千新台湾ドル		
ADVANCED SEMICONDUCTOR ENGINEERING INC		17,700	18,280	69,555	230,228	半導体・半導体製造装置
TAIWAN SEMICONDUCTOR		3,807	4,177	78,529	259,933	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	21,507	22,457	148,085	490,162	
	銘柄数<比率>	2	2	－	<1.0%>	
(オーストラリア)				千豪ドル		
WESTPAC BANKING CORP		1,380	1,820	5,602	441,918	銀行
TELSTRA CORP LTD		5,430	5,730	2,905	229,158	各種電気通信サービス

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)		百株	百株	千豪ドル	千円	
BHP BILLITON LIMITED		1,526	－	－	－	金属・鉱業
小計	株数・金額	8,337	7,550	8,507	671,076	
	銘柄数＜比率＞	3	2	－	＜1.4%＞	
合計	株数・金額	328,329	274,198	－	44,258,290	
	銘柄数＜比率＞	92	100	－	＜90.4%＞	

＊邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
＊邦貨換算金額欄の＜ ＞内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
＊株数・評価額の単位未満は切り捨て。
＊銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

国内投資信託証券

2016年10月11日現在の組入れはございません。

銘柄		期首(前期末)
		口数
		口
日本プロロジスリート投資法人　投資証券		440
合計	口数	440
	銘柄数	1

＊銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2016年10月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	48,244,986	98.2
コール・ローン等、その他	899,147	1.8
投資信託財産総額	49,144,133	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊当期末における外貨建て純資産（44,758,424千円）の投資信託財産総額（49,144,133千円）に対する比率は91.1%です。
＊外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=103.95円、1カナダドル=78.89円、1英ポンド=128.25円、1スイスフラン=105.75円、1スウェーデンクローナ=12.00円、1ユーロ=115.71円、1香港ドル=13.40円、1シンガポールドル=75.48円、1新台湾ドル=3.31円、1豪ドル=78.88円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年10月11日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	49,469,924,061
コール・ローン等	434,117,092
株式(評価額)	48,244,986,555
未収入金	677,479,709
未収配当金	113,340,705
(B) 負債	519,816,108
未払金	519,815,958
未払利息	150
(C) 純資産総額(A－B)	48,950,107,953
元本	24,593,361,593
次期繰越損益金	24,356,746,360
(D) 受益権総口数	24,593,361,593口
1万口当たり基準価額(C／D)	19,904円

(注) 期首元本額は27,650,805,551円、期中追加設定元本額は1,034,975,380円、期中一部解約元本額は4,092,419,338円、1口当たり純資産額は1.9904円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
- 世界好配当株投信(毎月分配型) 13,628,123,035円
- 世界好配当株投信 7,220,498,818円
- 野村世界好配当株投信(確定拠出年金向け) 2,268,906,578円
- ノムラFOFs用世界好配当株ファンド(適格機関投資家専用) 868,986,990円
- 世界好配当株投信(野村SMA・EW向け) 324,945,067円
- 世界好配当株投信(野村SMA向け) 281,901,105円

○損益の状況 (2015年10月14日～2016年10月11日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	1,491,370,433
受取配当金	1,468,885,831
受取利息	72,036
その他収益金	22,525,800
支払利息	△ 113,234
(B) 有価証券売買損益	△ 5,709,272,723
売買益	4,980,066,588
売買損	△10,689,339,311
(C) 保管費用等	△ 9,472,549
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 4,227,374,839
(E) 前期繰越損益金	31,841,927,523
(F) 追加信託差損益金	1,089,921,599
(G) 解約差損益金	△ 4,347,727,923
(H) 計(D＋E＋F＋G)	24,356,746,360
次期繰越損益金(H)	24,356,746,360

＊損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
＊損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

「当ファンドの運用の一部を委託されている米国の投資顧問会社(米国投資顧問会社)は、米国の証券関連法令(「米国法」)の適用を受けています。当該米国投資顧問会社は、米国法を遵守するという限定的な目的で、Arthur F. Bell, Jr. & Associates, L. L. C. (「アーサー・ベル社」)を、当ファンドの受益者の「独立した代理人」に任命しました。アーサー・ベル社は、「独立した代理人」として、米国法で求められている口座明細書やその他の必要な通知を、当ファンドの受益者に代わって当ファンドの受託銀行または保管銀行から受け取ります。アーサー・ベル社が「独立した代理人」としての地位を失うのは、(1)同社が辞任したとき、(2)同社の退任を当ファンドの受益者が承諾したとき、または(3)同社の解任が受益者にとって最善の利益になると独立の第三者が判断したときのみです。 アーサー・ベル社が「独立した代理人」に任命されることによって、受益者のみなさまが現在受け取っている当ファンドに関する運用報告書の内容、お知らせ、その他の情報に何ら影響が及ぶものではありません。」

○お知らせ

該当事項はございません。